質疑回答書

工事名称 ： 兵庫教育大学(山国)学校教育研究センター外壁等改修工事

回答日 ： 2026年10月27日～10月29日

兵庫教育大学総務部環境マネジメント課

課長	副課長	主査	施設管理チーム
川村	河上	千野	

番号	図面No 仕様書(頁)	質疑事項	回答事項	備考
1	共通	石綿含有建材の事前調査の有無、および積算条件について以下ご教示ください。 1. 事前調査は実施済みでしょうか。実施済みの場合は、その結果をご教示ください(または資料を開示いただけますでしょうか)。 2. 事前調査が未実施の場合、本入札の積算においては「石綿含有なし」として進めてよろしいでしょうか。あるいは、事前調査(試料採取、分析業務)の費用を積算に含めるべきでしょうか。 3. 契約後、施工前の事前調査等により石綿含有が判明した場合、調査費用、除去費用について設計変更の対象と解釈してよろしいでしょうか。	事前調査は行っておりません。関係法令に則り施工前の事前調査を行ってください。事前調査費は本工事範囲内に含めますが、事前調査にて石綿含有が判明した場合の除去方法を含めた改修方法および費用については協議によるものとします。	
2	特A-02 4章 外壁改修工事 (共通事項)	施工数量調査における調査報告書の提出成果品について、提出物は「野帳」および「数量表(集計表)」の2点とし、CADによるプロット図作成や全数写真等の提出は本工事の積算範囲外(含まない)と解釈してよろしいでしょうか。	特記仕様書A-01の「施工の立会い」のとおり、外壁補修の数量調査後、数量表等確認出来る調査報告書をご提出の上、立会いのもと補修箇所全数確認しますが、CADによるプロット図作成や全数写真の提出は必要ありません。(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官　工事写真撮影要領書(令和元年7月)に則る工事写真の提出については要領書に則りご提出ください)	
3	A-08	着工後の施工数量調査の結果、以下の不具合および数量の増減が生じた場合、実数にて設計変更の対象と解釈してよろしいでしょうか。 1. 参考数量からの増減 ・シール工法(参考数量:149m) ・自動式低圧樹脂注入工法(参考数量:119m) 2. 設計書(参考数量)に明示のない不具合の発生 ・欠損露筋補修、モルタル浮き補修 等 ※2の補修を見込む場合は、積算数量の明示をお願いします。	よろしいです。 契約後に変更せざるを得ない状況が生じた場合は、国立大学法人兵庫教育大学工事請負契約基準に則り協議によるものとします。	
4	A-08、09	改修工事なしとされている立面図において、シーリング(撤去・新設)の記号が記載されていますが、当該箇所は施工範囲外(施工不要)と解釈してよろしいでしょうか。	改修工事なしと記載している立面図範囲は今回本工事範囲外です。	

番号	図面No 仕様書(頁)	質疑事項	回答事項	備考
5	A-17、18	外部建具廻りのシーリング打替えについて、積算上の施工箇所は「扉廻り:三方(上・左右)」「サッシ廻り:四方(上下左右)」として進めてよろしいでしょうか。	よろしいです。	
6	A-20、D-9	「アルミ型材一時撤去」とありますが、現場状況により容易に取り外しができない(既存部材を破損する恐れがある等)場合、代替工法として「塩ビシートを差し込み、シーリング仕舞いとする方法」にて施工してよろしいでしょうか。	現場調査後、監督職員との協議によるものとします。	
7	A-08、13	新設される「玄関庇のアルミスパンドレル」および「玄関柱のアルミスパンドレル」について、設計において想定されている参考メーカーおよび商品名(型番等)をご教示ください。	アサヒ金属㈱　天井:AS104、柱:AS101 三協立山㈱　天井:MWR-100、柱:MT-120 理研軽金属工業㈱　天井:RA-10-4、柱:MH-6-S と同等品以上とし、いずれも電解着色標準色とします。	
8	共通	施工期間中、現場管理員および作業員用のトイレとして、施設内の既存トイレをお借りすることは可能でしょうか(有償)。あるいは、敷地内に仮設トイレを設置(積算に計上)する必要があるかご教示ください。	工事用地内に仮設トイレを設置(設置費用は本工事範囲内とする)してください。	
9	A-04	外部仕上げ表の屋上1ルーフドレンが改修用ドレン撤去の上鋳鉄製ドレン新設となっていますがこれはメーカー純正の塩ビ改修ドレンでよいでしょうか。	既設ドレンを撤去の上、鋳鉄製ドレン新設としてください。	
10	A-04	外部仕上げ表にアルミスパンドレル新設とありますがメーカーおよびグレードなどは指定(同等品)等はありますか？	番号7の回答と同様とします。	
11	現場説明書別図	図面左下に交通誘導員(材料搬入時等大型車両入構時は適宜交通誘導員を配置する事)と記載されていますが、工事施工上注意事項　2)では工事中については、交通誘導員を配置すること。と表現されています。どちらを正を考えれば宜しいでしょうか？もし工事中配置する場合は人員数の提示願います。	工事期間中の交通整理員については常駐の必要はありませんが、大型車両入構時や材料搬入時等適宜配置を行う等、構内安全対策を十分おこなった上で工事をおこなって下さい。	